

試合

佐々木 蔵雄

あれは昭和二十三年だから、我々は中学校の三年生であった。中学の三年といつてまだ戦中の精神教育というものが浸み込んでいたから、その純粹さは失われていない。特に男女七十席を同じうせずといふ教えが身にしみて婦人は側へお寄やつはなか、たもんだけと、それにひきかえ後輩共はアーヴィング。それはさておき、当時は体育教官岡本氏の關係で大阪歯科大学の千一山の方々が我々のコーチに来てくれたが、當時の歯科大は黄金時代で全日本でも有数の千一山であった。その某我々は後生の村田氏といい優秀なコーチ陣に恵まれて正に鬼に金棒・征く所敵なしとまではいかない程くとも、未だまあの成績であった。その歯科大のコーチに寝屋川へ遠征した事があつた。寝屋川はその当時から現在と変わらず、ハンドボール界では鳴らしておいたね。実に、い、豆の動きといふシューイット力といい敵にと、て不足なしのうまさを持っておりました。我々も腕をならして敵地へ乗り込んだ。時まさに昭和二十三年一月二十七日天気は快晴

三年
の勝ち 池田中学校に遠征六対〇で向う

一月二十一日 天王寺中学に遠征二対一で
 一月二十三日 戰は三対二で向うの對鳳中
 一月三十一日 本校に於て対住吉中戰は三
 一月三十一日 で高津中の勝ち。
 三月二十四日 八尾中へ遠征して四対二で
 向うの勝ち。
 千里山にて府下の新人戰は
 対戦校は不明だけれど二回戦は
 戰三対二で勝敗は
 準決勝四対二で勝敗は
 決勝五対〇で惜しくも
 敗れる。
 三月二十七日 準決勝に進出。
 戰三対二で勝敗は
 決勝四対二で勝敗は
 九月八日 昭和二十四年度
 寝屋川に遠征し、今度は男
 子とやつて勝つ。
 四月九日 体予選が豊中で行われ雨
 中の泥試合であつたが勝つ。
 九月十七日 藤井寺で二次戦は四対二で
 勝け。
 一月十八日 昭和二十五年度
 対山勝山高三対六高津の勝ち。
 一月三十一日 はスユアードは、
 は勝つのはずなのに負けた記録ば
 もつと勝つているのは、
 かく残っているのがあり前で勝ば

た方はつけなかつたようです。しかし此
 の頃は食量事情も悪く田舎の米のメシを
 食つてゐる奴とおかゆかいもといふ我々で
 はおのずとその差ははつきりしていふも
 のね。生野高校・勝山高校それに北野
 高校とは特に試合数が多くつた様です。

格言



若者は欲しいと思う、恋と金と健康を。
 ところである日かれらはいう、健康と金
 と恋を。

青年よ、青年よ、つねに正義とともにあ
 れ、もし正義の觀念が汝のうちで薄れる
 ようなことがあれば、汝があらゆる危険
 にあらざるだらう。汝がアーチャー

各人の中には、驚くべき可能性があ
 うのだ。み前の力とみ前の若さを信ぜよ。
 ばく次オでどうにでもなるのだと、
 アニドレジード

幸福はまずなによりも健康のなかにある
 G.W. カーチス